

三島由紀夫

89歳のお誕生日祭

～懐かしい三島さんを偲んで～



「三島由紀夫の来た夏」(扶桑社刊)
著者:横山郁代
講演&ミュージックライブ(ジャズ・60年代ポップス)



2014年1月14日(火)

「三島由紀夫 89歳のお誕生日祭

～懐かしい三島さんを偲んで～

開場:18時30分～

開演:19時30分～21時45分

会場:風土カフェ&バー「山羊に、聞く？」

東急東横線代官山駅正面出口より徒歩1分

料金:前売り4500円・当日5000円(4種のビッフェ付き)

講演:「三島由紀夫の来た夏」著者 横山郁代

ライブ:サーシャ横山&志村孝雄

予約:電話03-6809-0584もしくは

「山羊に聞く？」HPの予約フォームにて

①氏名②チケット枚数③連絡先をお伝えください。

企画・総合司会:御手洗志帆(オフィスパンタレイ)



2014・1・14
YUKIO MISHIMA BIRTHDAY

～ご案内～

1925年1月14日生まれの故・三島由紀夫氏。
今年で生誕89年を迎えます。
1月14日にこだわって、歌と講話による「三島由紀夫89歳のお誕生日祭」を開催します。

講話は扶桑社刊「三島由紀夫の来た夏」著者：横山郁代さんが、
下田でのお茶目でユーモア溢れる三島さんの素顔を語ります。
三島さんとの最初の出会いは「アッカマー」
思わず微笑んでしまうような下田での夏を過ごす三島さんの姿。
そしてキーワードは「マドレーヌ」

三島ファンなら知っておきたい！可愛い三島さんに出合える一夜となるでしょう。

ミュージックライブは、横山郁代さんがサーシャ横山に変貌し、
ピアニストの志村孝雄さんと共に代官山の夜を盛り上げます。
ジャズスタンダードや、なつかしの60年代のポップスがいっぱい、
もちろん三島さんが好きだったあの曲も歌います。
おいしい料理と、心温まるエピソードや歌をお楽しみに。

～1月14日スケジュール～

開場18:30～ ご来場のお客様からピュッフェを楽しんでいただけます。

●第一部 19:30～講話&ライブ

「最期の夏、果し得ていない小さな約束」

伊豆・下田で見た三島由紀夫の御茶目でユーモア溢れる一面に出会えます。
1970年の夏、17歳の少女が三島由紀夫と交わした約束とは・・・

●第二部 20:30～ライブ

「ジャズ・懐かしの70年代ポップスメドレー」

三島さんに捧げたい！心のこもったミュージックライブです。

～主な予定曲～

ワン・ノート・サンバ / イパネマの娘 / 月に飛ばせて / いそしぎ / 明
るい表通り / ジャズサンバ / 恋人よ我に帰れ / テネシーワルツ /
ルート66 / マイ・ファニー・バレンタイン
(60年代ポップス) 恋の季節 / 夜明けの歌 / ケ・セラ・セラ / 愛の讃歌 /
バラ色の人生 / メケメケ 他



P. 志村孝雄

プロフィール

20代の頃から、ピアニストとして、ソロ、様々なジャンルで活動し、現在は静岡県で活動。童謡からジャズまでジャンルにこだわらない音楽スタイルで好評。



Vo. サーシャ横山



企画・御手洗志帆

横山郁代プロフィール

昭和26年、静岡県下田市生まれ。実家は大正11年(1922)創業の日新堂菓子店。15歳の頃、下田に来ていた三島由紀夫に出会う。アメリカに語学留学をし、帰国後、東京で会社勤めをしながらジャズ修業に励む。昭和54年、夫とともに家業の菓子店(三島由紀夫の愛したマドレーヌ販売)を引き継ぐ。二男の母。2011年9月と11月に三島由紀夫ゆかりのバー「新宿・どん底」にてトーク&ライブ。12年には愛国忌にて講演。三島由紀夫氏が日本一と称したマドレーヌの味を守りながら、全国各地で講演・ライブで活躍中。

御手洗志帆プロフィール

昭和63年、広島県生まれ。現在25歳。
2020年に「三島由紀夫展～豊饒の海から逆流する四つの河」開催することが夢。永遠のライフワークとして毎年8月6日に「新藤兼人映画祭」を主催、生きている限り続けることを宣言。連絡先officepantarei@yahoo.co.jp